

# 事業実施報告書

団体名：埼玉里母の会

事業名：埼玉県に住む里親子に必要な支援及び、そのための調査研究

## 1 事業の目的

埼玉県と、さいたま市は行政区で里親会が分かれています。しかし同じ埼玉で里子の子育てをする際、必要な情報交換や交流は行政区で分ける必要はありません。むしろ共に行動し情報共有しスキルをあげることで、地域や学校の問題や、里子の持つ様々な課題に対しより良い支援につながる。

また、里子は里親の元から自立を迎える。その際の支援体制はまだ確立されていません。自立する子どもたちと伴奏していくような支援体制を作ることで、社会へ自立後つまづいた時などの相談体制につながる。

## 2 事業内容

### ・研修事業

①「さとにきたらええやん」

映画上映 平成 29 年 10 月 22 日 14 時～

With you さいたま セミナー室 1、2



### ・自立支援のための調査事業

自立支援に向けた調査・対象：中学生里子・高校生里子等  
(里子アンケート添付)

#### 【事業の流れ】

①平成 29 年 6 月～6 回の会議

アンケート作成 ア、里子用 イ、里親用 ウ、里子 OB 学生用 エ、里子 OB 学生以外用 オ、児童養護施設入所児童 カ、退所児童用

配布先のリストアップ、配布・回収方法、など具体的な準備

②平成 29 年 10 月 6 日 埼玉大学、堀田教授とアンケート調査のチェック

③平成 29 年 11 月 27 日 埼玉県里親会理事会にてアンケートへの協力依頼

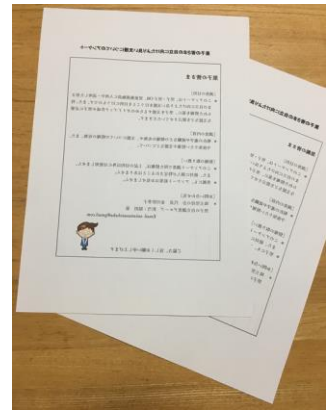
④平成 30 年 1 月 15 日 さいたま市児童相談所里親担当職員へアンケートへの協力依頼

⑤平成 30 年 2 月 22 日 23 日・27 日 印刷郵送準備、郵送

#### 【成果及び今後の展開】

アンケート 3 月回収後、集計分析を行う。堀田教授にもご指導いただく。

来年度は、自立支援の為の冊子等の作成を目指す。



### ・サロン等調査事業

埼玉県内の里親サロンの現状を知り、今後いかにすれば里親にとってより良いサロンとなるのかを探ろうと思ひ実施。アンケート対象者は埼玉県内の乳児院、児童養護施設等の里親支援専門相談員。

#### 【事業の流れ】

①2017 年 8 月 1 日「里親サロンについてのアンケート調査」のアンケートを作成

②2017年9月21日、平成29年度第2回里親支援専門相談員連絡会議「彩の国すこやかプラザ会議室2」に参加しアンケートの依頼。

出席者は埼玉県内乳児院里親支援専門相談員5名、児童養護施設里親支援専門相談員14名計19名。

③2017年9月22日、上記会議欠席施設にアンケート用紙郵送作業。

④2017年9月27日、「子どものケアハウス嵐山学園」里親サロンアンケート調査についての説明と依頼

＊情緒障害児短期治療施設のため里親支援専門相談員は設置されていないが、里親サロンが行われているため、調査の対象とした。

⑤2018年2月3日、回収したアンケートのまとめ、考察を行う。

・県内里親会編；各地域里親会より里親サロンについて記載の資料を預かりまとめた。

・乳児院、児童養護施設等編；アンケートから得られた情報をもとにまとめた。

・その他編；里親サロンを実施している代表よりチラシを預かりまとめた。

### 【成果及び今後の展開】

埼玉県内において「里親サロンに関わるアンケート調査」は、今回が初めてではないかと思われる。協力いただいた県内の乳児院・児童養護施設等、29機関中22機関。地域里親会における資料の提供も得られた。それらをもとに分析、考察した結果、22機関中11機関で里親サロンが実施されていることがわかった。その開催規模を概観したところ、地域限定といった狭い範囲内での開催がほとんどであり、多くの里親が地域を超えてつながりを持てるような全県規模のサロンは非常に少ないことが明らかになった。

今後は里親が地域を超えて広くつながりを持ち、それぞれの抱えている問題を里親同士で共有し、より一層、養育に対する考え方や対応方法など、幅を広げるようにするにはどうしたらよいかを考えていきたい。さらにアンケートを分析し、里母の会が考える里親たちの自助、交流の場が広がることについて今後も考えていきたい。

### ・ベビーズホームプロジェクト

新生児委託と、乳幼児ファミリーホームについて調査研究

#### 【事業の流れ】

①平成29年6月1日 千葉県松戸市

乳幼児ファミリーホーム「新松戸7丁目の家」

へ訪問研修

②平成29年7月3日 埼玉県

ファミリーホーム「根岸の家」へ訪問研修

③平成29年7月10日 越谷児童相談所 草加支所

大山部長にファミリーホームについて相談。

④平成29年7月24日 埼玉県こども安全課を訪問相談。

「ファミリーホーム開設のしおり」をいただく。

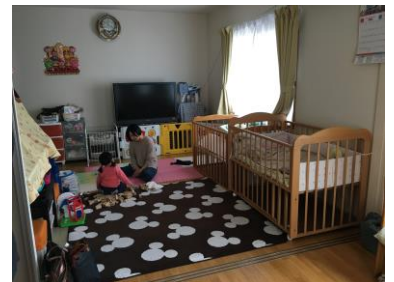
ファミリーホーム開設を決意する。

⑤平成29年9月3日 家族とともに根岸の家を再び訪問し、ファミリーホーム開設へ向けてのアドバイスをいただく。

⑥平成29年10月～12月 申請書類作成及び申請

⑦平成29年10月 新生児受託 里親へ養育練習後バトンタッチ

⑧平成29年12月 新生児受託 現在養育中



- ⑨平成 30 年 1 月 22 日 こども安全課家庭訪問。
- ⑩平成 30 年 2 月 1 日 ファミリーホーム「にこにこほーむ」開設
- ④平成 30 年 2 月 23 日 10 時～14 時 にこにこほーむ研修  
里母 4 名、里親支援専門相談員 2 名参加 乳幼児受託についての研修

#### 【成果及び今後の展開】

新生児から受託し、里親へ養育練習後バトンタッチをすることで、愛着を損なうことなく委託へつなげることができるし、その後の支援もしやすい。  
新生児委託を中心にホームから里親へバトンタッチした里親を支援へとつなげていきたい。  
今後は委託後の相談も行いたい。

#### ・未委託里親の支援

未委託里親支援事業「施設探検隊」3回シリーズ

内容：施設見学・養育スキル研修・委託までの流れ・先輩里親の体験・ランチ交流など

#### 【事業の流れ】

- ①第1回 平成 29 年 9 月 17 日 済生会川口乳児院 10 時から 15 時  
参加者：未委託里親 20 名 施設院長 1 名 施設里親支援専門相談員 1 名 施設職員 1 名 先輩里親 8 名
- ②第2回 平成 29 年 11 月 4 日 社会福祉法人愛の泉 児童養護施設愛泉寮 10 時から 15 時  
参加者：未委託里親 24 名 施設長 1 名 施設里親支援専門相談員 2 名 施設職員 1 名 里親支援専門相談員 11 名 先輩里親 10 名
- ③第3回 平成 30 年 1 月 18 日 社会福祉法人あゆみ会 児童養護施設あゆみ学園 10 時～15 時  
参加者：未委託里親 11 名 施設院長 1 名 施設里親支援専門相談員 1 名 先輩里親 8 名

\*その他会場施設打ち合わせ 4 回開催

#### 【成果及び今後の展開】

3 回シリーズで実施し、埼玉県とさいたま市合わせて、1 回以上参加した未委託里親は 20 組になり、予想以上に里親の参加が多くこの事業に里親のニーズがあることを実感しました。

参加者からは、具体的な事例が多く、今までこのような機会がなかったと大変好評を得ました。里親との交流が実際に始まり、今事業参加の経験がとても役立っているとの連絡がありました。

今後については、未委託支援事業今後については、一般社団法人埼玉県里親会・さいたま市里親会・里親支援専門相談員連絡会等と更に協力を図り、未委託里親への確かな情報提供をし、県内の里親委託推進へ協力し今年度の事業で掘り起こすことの出来た未委託里親への支援項目を次年度の未委託支援事業へ反映して行きたいと考えています。



## ・ユース（中・高・大）の自立に向けた情報交換

自立後のアフターケアとしての情報交換

「さとっこカフェ（仮称）」毎月1回開催

対象者：里親、里子、元里子等、その他支援、賛助者

### 【事業の流れ】

- ①第1回 平成29年4月22日 13時～17時 北本市多目的ルーム 不明
- ②第2回 平成29年6月3日 13時～17時 北本市多目的ルーム 6名
- ③第3回 平成29年7月16日 13時～17時 北本市多目的ルーム 4名
- ④第4回 平成29年8月26日 13時～17時 北本市多目的ルーム 7名
- ⑤第5回 平成29年9月24日 13時～17時 北本市多目的ルーム 3名
- ⑥第6回 平成29年10月29日 13時～17時 北本市多目的ルーム台風中止
- ⑦第7回 平成29年11月23日 13時～17時 北本市文化センター 2名
- ⑧第8回 平成29年12月30日 13時～17時 上尾市カラオケルーム 18名
- ⑨第9回 平成30年2月10日 13時～17時 クローバーハウス 4名

### 【成果及び今後の展開】

措置解除後の里子に対して就労状況や生活状況を聞いたり、アドバイス等できたことは良かったと思う。実親との関係などプライベートな事を話ができる雰囲気ももてた。進学等の情報について里親に相談する時もあり、奨学金の情報や高校進学へのアドバイスを行った。埼玉県内の里親、里子の交流の場を提供できた。2月に、クローバーハウス(社会福祉士会)を見学しスタッフと話し合いをした。

今後はクローバーハウスと協力して、里子のアフターケアや自立支援を行っていただければと思う。

さとっこカフェを毎月開催できるよう、連携先や協力者を増やして活動に幅を広げたい。

さとっこカフェの周知活動を積極的に行い、参加者を増やしていきたい。

特別支援学校等のお子さんも含めた自立支援についても事業を検討していきたい。



・ 広報誌等発行事業

「埼玉里母の会ニュースレター創刊号平成30年2月20日発行 \*別紙参照

【成果及び今後の展開】

埼玉里母の会の活動をわかりやすく明るい

紙面で紹介できる広報誌「埼玉里母の会

ニュースレター創刊号」が発行できた。

関係機関に配布し里母の会の活動を理解、支援、参加していただく。

引き続き発行していく。

【連携・協力機関】

(一社)埼玉県里親会

さいたま市里親会

済生会 川口乳児院

社会福祉法人愛の泉 児童養護施設 愛泉寮

社会福祉法人あゆみ会 児童養護施設あゆみ学園

埼玉大学 堀田香織副学長

児童養護施設 若竹ホーム

里親支援専門相談員連絡会

新松戸7丁目の家

根岸の家

クローバーハウス

